

2011年10月27日(木)

第2回 ミステリー文学と阪神間の風土

講師：有栖川 有栖

阪神ミステリー文学劇場

- 1931年5月12日 江戸川乱歩『江川蘭子』
芦屋に住む一人の悪女の生き様を6人の作家が書いた連作。
- 1968年2月～10月 松本清張『内海の輪』
連載 有馬や蓬莱峡、宝塚警察が登場。
- 1977年11月 陳舜臣『六甲山心中』
神戸周辺を舞台とした短篇ミステリー集。
- 1991年10月 斎藤栄『タロット日美子の芦屋夫人殺人事件』
芦屋の豪邸でおこった殺人事件と名画盗難事件に日美子が立ち向かう。
- 1992年6月 木谷恭介『神戸異人坂殺人事件』
神戸での披露宴の最中、殺人事件が発生。新婦も姿を消してしまった・・・
- 1994年6月 斎藤栄『JR神戸線殺人旅行』
JR神戸線の電車内から殺人事件を目撃した直後、誘拐された妹の行方を追う姉も狙われて・・・
- 1994年9月 斎藤栄『神戸摩耶山殺人事件
——二階堂特命刑事調査官シリーズ——』
六甲摩耶山をハイキング中に、不審な死体を発見。その現場検証の最中、謎めいた少女が姿を現わし・・・

- 1995年8月 吉村達也『六麓荘の殺人』
田園調布と芦屋、東西の豪邸に跨る空前の大トリック。
- 1995年4月 齊藤栄『宝塚市殺人事件』
宝塚を舞台に、叶わぬ恋とブラックマネーが生んだ悲劇。
- 1996年4月 貴志祐介『十三番目の人格－ISOLA－』
多重人格と憑依現象、阪神・淡路大震災を題材にしたミステリーホラー小説。『ISOLA 多重人格少女』の名前で映画化・漫画化された。
- 1997年10月 筈健二『未明の悪夢』
1995年初頭、突然関西を襲った天変地異阿鼻地獄の中で次々と起こる不可解な事件一。
- 1999年5月 有栖川有栖『ペルシャ猫の謎』
阪神武庫川駅が登場。
- 2001年7月 有栖川有栖 ミステリー短篇集『暗い宿』
「異形の客」に武田尾温泉が「猛田温泉」の名で登場。
- 2010年1月 柏木圭一郎『有馬温泉「陶泉 御所坊」殺人事件』
御所坊の主人が実名で登場。
- 2011年1月 西村京太郎『新神戸愛と野望の殺人』
新大阪から新神戸に向かう新幹線「こだま」、そのわずか十五分間に殺人が。時刻表のアリバイに挑む、長編トラベルミステリー。